

石川県立看護大学

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	中学生 対応
看護学部 / 看護学科 人間科学領域					
1	こころと身体の健康づくり	健康づくりは、日ごろの生活を見直すことから始まります。食事・運動・睡眠の過ごし方をふりかえり、適切なライフスタイルを一緒に考えてみませんか	人間科学領域 准教授 垣花 渉	・PC持参 ・プロジェクター ・スクリーン使用	○
看護学部 / 看護学科 看護専門領域 健康科学講座					
2	子宮頸がんをもっと知りたい!	20代の若い女性に子宮頸がんが増えています。10代のうちに、子宮頸がんという病気の原因や予防方法などの知識を身につけて20代を迎えましょう。	健康科学講座 教授 今井 美和	・PC持参 ・プロジェクター ・スクリーン使用	
看護学部 / 看護学科 看護専門領域 基礎看護学講座					
3	ナースに必要なスキル	ナースになるための基礎となる看護技術(コミュニケーションや日常生活援助技術など)について学びます。	基礎看護学講座 教授 中田 弘子 准教授 木森 佳子 准教授 石川 倫子 講師 寺井 梨恵子	・PC必要 ・プロジェクター ・スクリーン使用 対応可能時期: 10月下旬~3月(但し、火・水曜日は除く)	○
看護学部 / 看護学科 看護専門領域 母性看護学講座					
4	生命誕生への支援について学ぼう -妊婦・新生児の看護体験から-	少子化社会で妊婦さん、赤ちゃんに出会うことが少なくなってきました。今回は、妊婦や新生児モデルによる疑似体験を通じて、生命の誕生を迎える母親への看護職の役割についてお話しします。	母性看護学講座 教授 濱 耕子 亀田 幸枝 米田 昌代 講師 曾山 小織 助教 楠作 梢 助手 河合 美佳 西村 未来	・PC必要 ・プロジェクター ・スクリーン使用 教材としての妊婦モデル・新生児モデルは持参します。 対応可能時期: 8月~9月	
看護学部 / 看護学科 看護専門領域 小児看護学講座					
5	子どもの虐待予防: 私たちにできること	子どもの虐待についての相談・通報件数は増え続けています。世代間連鎖が起こる虐待を未然に予防するためには、社会が、そして私たちが何をすべきなのか。事例を通して一緒に考えていきたいと思います。	小児看護学講座 教授 西村 真実子	・PC必要 ・プロジェクター ・スクリーン使用 対応可能時期: 7月~10月(対応が難しい時もあるのでご相談させてください)	
看護学部 / 看護学科 看護専門領域 成人看護学講座					
6	私はコミュニケーションが上手? 下手? -自分と他人との関わり方について振り返ってみよう-	家族や友人、先輩や後輩との会話のやり取りで、「あれ、なんでこんな雰囲気になったんだろう」と感じた場面はありませんか? プロセスレコードという方法を用いて、その場面を振り返ってみると、自分の会話の傾向を探ってみるきっかけになるかもしれません。	成人看護学講座 講師 松本 智里	・PC必要 ・プロジェクター ・スクリーン使用 対応可能時期: 8月3週以降~9月末、2~3月	○
看護学部 / 看護学科 看護専門領域 老年看護学講座					
7	認知症の人にやさしいまちづくり	超高齢社会となったわが国では、2025年までには認知症罹患者が700万人を超えると推計されています。認知症があっても住み慣れた地域で暮らすことができるよう、認知症の正しい理解と対応方法について学びましょう。これは、他人事ではなく自分事なのです。そして、認知症の人にやさしいまちはすべての人が尊重されるまちでもあります。	老年看護学講座 教授 川島 和代 准教授 中道 淳子	・PC必要 ・プロジェクター ・スクリーン使用 対応可能時期: 前期4月~9月(ただし、水曜日のぞく)を希望。他の時期、応相談。	○
看護学部 / 看護学科 看護専門領域 地域看護学講座					
8	防災ワールド・カフェを体験しませんか?	近年、各地で地震や台風、豪雨など自然災害による大きな被害が発生しています。災害は人々の健康にも大きな影響を及ぼします。普段から災害に備えること、自分や家族の健康を守る備えが必要です。防災ワールド・カフェでみんなで自由に話し合い、自分なりの防災を考えてみませんか?	地域看護学講座 講師 曾根 志穂	・PC必要 ・プロジェクター ・スクリーン使用 対応可能時期: 8・9・3月、ほか要相談。 グループワークができる形態の教室希望	○

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	中学生 対応
看護学部 / 看護学科 看護専門領域 精神看護学講座					
9	こころの健康について	現代はストレス社会と言われており、約15人に1人が一生のうちうつ病にかかるといわれています。そもそも目に見えない「こころ」とは何でしょうか？こころの健康・不健康とは？こころの病気にならないためにはどうしたらよいのかについて一緒に考えていきましょう	精神看護学講座 准教授 谷本 千恵	・PC必要 ・プロジェクター ・スクリーン使用 対応可能時期：8月、9月、3月	○
10	「鳴子を使った音楽運動療法」ってなに？	認知機能低下予防のためのリハビリテーションには様々なことが行われています。しかし、その効果についてはあまり明確にされていません。最近の研究から効果のある音楽運動療法についてご紹介します。また、鳴子を使った音楽運動療法を皆さんと実際に行ってみましょう！	精神看護学講座 講師 清水 暢子	・PC必要 ・CDプレーヤー必要 ・プロジェクター ・スクリーン使用 対応可能時期：4～9月、鳴子を使うので、他の教室とは離れた教室が理想です（音が響くので）。	○
11	自閉スペクトラム症とその接し方を学ぶ	近年増加しているといわれる発達障害。その中でも特に自閉スペクトラム症について説明します。また、その特徴に合わせた接し方についてお話します。	精神看護学講座 助教 大江 真吾	・PC必要 ・プロジェクター ・スクリーン使用 対応可能時期：4～9月	

石川県立看護大学 連絡先・及び行事日程等

HP	https://www.ishikawa-nu.ac.jp/
担当課・連絡先	総務課 076-281-8308
入試	1/16, 17, 2/25, 3/12
イベント	4/3, 7/11, 10/17, 3/13

石川県立大学

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	中学生 対応
生物資源環境学部 / 生産科学科					
1	稲ワラの利用と伝統産業	水稲はわが国の主要農産物ですが、稲ワラはほとんどが利用されずに水田に放置されています。ここでは稲ワラの利用方法について概要を説明し、特に金沢の伝統産業である金箔製造に関係した研究事例について紹介します。	准教授 大角 雅晴	・プロジェクター ・スクリーン使用	
2	コメ生産は温暖化の影響をどのように受けるか？	コメ(イネ)の生育、収量および品質が温暖化によって受ける影響とそのしくみと、それを克服するための方策を紹介します。	准教授 塚口 直史	・プロジェクター ・スクリーン使用	
3	植物の病気とバイオテクノロジー	病害による農産物の被害は、年間8～10億人分とも算出されています。将来の食糧問題解決の糸口を「植物病理学」という研究分野から考え、さらに、近年の植物病理学研究に欠かせない「バイオテクノロジー」について紹介します。	准教授 高原 浩之	・プロジェクター ・スクリーン使用	
4	遺伝子組換え植物を見分けるテクニック	テレビや新聞で取り上げられているように、日本に輸入されるトウモロコシや大豆などに遺伝子組換え植物が含まれる割合が増えています。見た目には普通の野菜・果物と区別がつかない遺伝子組換え植物を、見分けるテクニックを紹介します。	教授 関根 政実	・プロジェクター ・スクリーン使用	
5	次世代シーケンサーを用いた遺伝子単離技術の開発	2005年以降、次世代シーケンサーと呼ばれるDNA配列を読み取る機械が次々と開発され、全ゲノム配列解読に要する費用、時間および労力が、従来よりも大幅に削減されてきました。本出前講義では、次世代シーケンサーによる最新の遺伝子単離技術および遺伝子単離後の植物の育種への応用について解説します。	准教授 高木 宏樹	・プロジェクター ・スクリーン使用	
6	果実の成熟	近年、機能性成分として注目されている赤色や紫色を呈するアントシアニン(ブドウ)や、渋みを呈する縮合型タンニン(カキ)の蓄積と関連して、どうして赤、白、黒色のブドウがあるのか、渋ガキと甘ガキの違いはどのように決まっているのかを紹介します。	准教授 片山 礼子	・プロジェクター ・スクリーン使用	

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	中学生 対応
7	どこに向かうのかをじっと観察して、虫を制御する製品開発へ	昆虫の行動の研究と聞くと、面白そうだけれど社会に役に立たなさそうだな、と思いませんか。そんなことはありません。昆虫の光に対する行動の研究から、私と民間企業とが、どのように製品化を目指したのか、これから何を開発しようとしているのか、光による昆虫の行動制御製品の開発の裏話を明かします。	准教授 弘中 満太郎	・プロジェクター ・スクリーン使用	
8	石川県のすごく怖い、でも本当は魅力的な害虫たち	石川県には何種類もの大害虫が存在しています。金沢市北部から河北郡にかけて大発生して、稲を食害し、店舗や家屋の照明に飛んでくるハネナガイナゴもその一種です。このイナゴ、なぜか金沢市以南には生息していません。この謎を解き明かそうとした研究室の学生さんの研究から、大学での研究の魅力を紹介します。	准教授 弘中 満太郎	・プロジェクター ・スクリーン使用	
9	アニマルウェルフェアを考慮した畜産の取り組み	低ストレス飼育による家畜生産を推奨する「アニマルウェルフェア」の概念は、欧米を中心に世界に広まりつつある。肉や生乳、卵といった身近な畜産物がどのように作られているかを解説し、家畜のストレスを減らすための取り組みや研究を紹介します。	助教 浅野 桂吾	・プロジェクター ・スクリーン使用	
10	食生活の変化と食料自給率	日本人の食生活は、経済が豊かになっていく中で大きく変化してきました。一方、食料自給率はその間低下しており、最近ではカロリーベースで40%を切る水準にあります。この講義では、食生活の変化と食料自給率低下の関係について説明します。	助教 住本 雅洋	・プロジェクター ・スクリーン使用	
11	乳・肉の安定供給に不可欠な家畜の繁殖技術	食に乳・肉を提供する家畜は、繁殖により生産されています。従来的人工授精、胚移植に加え、近年生産現場でも利用が進んでいる体外受精や雌雄産み分けといった繁殖工学技術など、消費者が一般に触れる機会が少ない家畜の繁殖技術を解説します。	教授 橋谷田 豊	・プロジェクター ・スクリーン使用	
生物資源環境学部 / 環境科学科					
12	自然エネルギーの活用 -水車で発電-	持続可能な自然エネルギーの活用法について、マイクロ水車発電の事例を取り上げ解説します。	教授 瀧本 裕士	・プロジェクター ・スクリーン使用	
13	雪を知り雪に親しもう	冬になると、なぜ日本海側の地域で雪が多く降るのか、そのメカニズムを解説するとともに、雪による災害や雪の利活用にも触れる。	准教授 皆已 幸也	・プロジェクター ・スクリーン使用	○
14	植物にひそむ菌たち	自然環境を彩る植物には、見えていないだけで実は「菌たち」がひそんでいます。高校では「分解者」としてだけ扱われる菌たちの重要な役割を紹介します。	准教授 田中 栄爾	・プロジェクター ・スクリーン使用	
15	自動撮影カメラで探る動物たちの暮らし	森に暮らす動物たちを赤外線センサー付きの自動撮影カメラを使って調査した研究とそれらの動物たちの生態系における役割について紹介します。	准教授 北村 俊平	・プロジェクター ・スクリーン使用	
16	熱帯の森に種子をまく 巨鳥サイチョウ	東南アジアの熱帯の森を代表する大型鳥類サイチョウ類の暮らしと熱帯林における役割について紹介します。	准教授 北村 俊平	・プロジェクター ・スクリーン使用	
生物資源環境学部 / 食品科学科					
17	発酵と微生物	石川県には、多くの伝統発酵食品が存在しており、その熟成には微生物が多くの役割を果たしています。彼らがどのように食材中で繁殖し、熟成を導くのか、また微生物発酵とは何かについて、わかりやすく解説します。	准教授 小柳 高	・プロジェクター ・スクリーン使用	
18	石川県の農産物、伝統食品の成分と機能を探る	加賀野菜、中島菜などの地場産農産物、かぶらずし、能登の魚醤油イシル、魚の糠漬けなどの伝統食品に含まれる成分についてわかりやすく紹介します。また、これら食品の機能性や関与する微生物についても解説します。	教授 榎本 俊樹	・プロジェクター ・スクリーン使用	
19	自分の体は自分で守ろう -食品と生体防御-	私達の体に備わっている自己防衛機能である免疫システムと食品の関係について、わかりやすく解説します。	准教授 西本 壮吾	・プロジェクター ・スクリーン使用	
20	私たちの身近な食と食中毒 -食卓から世界まで-	私たちが毎日食べる食品は安全なのか？そこに食中毒の危険性はないのか？など、私たちに身近な食と食中毒の関係について、分かりやすく解説します。	准教授 中口 義次	・プロジェクター ・スクリーン使用	

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	中学生 対応
21	食品の乾燥	食品素材は水分を含んでいて痛みやすいため、古くから人類は食品を乾燥させて保存してきました。現在でも食品製造過程において乾燥は重要な操作です。この乾燥のしくみを解説します。	准教授 島 元啓	・プロジェクター ・スクリーン使用	
22	腸から健康を考える	腸は単なる消化・吸収器官に留まらず、ホルモン分泌や免疫応答など、実に多彩な機能を秘めていることが明らかとなりつつあります。本講義では、本講義では、腸の機能と健康について、わかりやすく解説します。	准教授 東村 泰希	・プロジェクター ・スクリーン使用	
23	食と健康	超高齢化社会が進む中、健康寿命を延ばすことが大切とされています。そのためには日常の食事に気を使って生活習慣病を予防することが大事です。本講義では生活習慣病の原因とその予防効果を有する食品についてわかりやすく解説します。	教授 松本 健司	・プロジェクター ・スクリーン使用	
24	食品と医薬品の違いとは？	医薬品と食品の共通点、相違点を考えていくとともに、飲み合わせについて解説していきます。	講師 関口 光広	・プロジェクター ・スクリーン使用	

石川県立大学 連絡先・及び行事日程等

HP	https://www.ishikawa-pu.ac.jp/
担当課・連絡先	教務学生課 076-227-7408
入試	未定
イベント	火曜日（複数週で会議が設定される）

金沢美術工芸大学

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	中学生 対応
美術工芸学部 / 美術科 / 日本画専攻					
1	日本画と文化財保存	平安時代以前から現在へと受け継がれる伝統的な絵画技法で制作される日本画。世界に誇れるこの文化を知る機会が少ないのも事実である。古来使用される和紙や絹、顔料や膠などを現物から理解し、これらが文化財の保存にもつながることを平等院鳳凰堂壁画復元研究を事例に紹介する。	准教授 荒木 恵信	・PC持参 ・プロジェクター ・スクリーン使用	○
2	大学で学ぶ日本画	平安時代から続く日本の絵の一つとして日本画があります。時代によって異なる考え方によってさまざまな日本画が生み出されてきました。大学では制作を通して作者の視点の変遷を学びます。視覚的な情報が多く、見ることに受動的になってしまう現代で主体的に観ることに向き合うことによって生み出されるものがあります。	准教授 石崎 誠和	・PC持参 ・プロジェクター (HDMI端子が好ましい) ・スクリーン使用	○
美術工芸学部 / 美術科 / 油画専攻					
3	「絵」の不思議な世界	普段当たり前のように見たり描いたりしている「絵」。でもよく考えてみると、何ともしない平らな画面に何でも存在させてしまう、不思議な「絵」。エッシャーやマグリットから最近話題の3Dアートまで、様々な絵を鑑賞しながら、全ての絵が本来持っている不思議で面白い力について考えます。	教授 大森 啓	・プロジェクター ・スクリーン使用	○
4	美術の楽しさとは	美術の楽しさについて、制作する側と鑑賞する側の両方の立場から、時代や地域、表現ジャンルの傾向に触れながら学びます。また、制作者に求められる知識や技術を習得する場としての、美術大学について理解します。	准教授 高橋 治希	・プロジェクター ・スクリーン使用	○
美術工芸学部 / 美術科 / 彫刻専攻					
5	「彫刻・立体アートへの誘い（いざな）い」	普段はあまり触れることの少ない彫刻や立体アート。その多様性や楽しみ方を美大の活動を通して紹介します。また、彫刻に使われている様々な素材や技法についても実演を交えてお話しします。ものづくりの楽しさ、その原点に触れてみませんか。	教授 石田 陽介	・プロジェクター ・スクリーン使用	○

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	中学生 対応
美術工芸学部 / 美術科 / 芸術学専攻					
6	作品を観ること・考えること	美術作品を観察してみると、そこにある「形」や「色」を通して、様々なことに気付かされます。人間が言葉では表せない感覚や意識を、選び抜いた「形」と「色」で具現化したもの、それが作品だからです。ゆっくり作品を鑑賞することから始まる美術作品の世界、その一端に触れてみましょう。	准教授 水野 さや	・PC持参 ・プロジェクター ・スクリーン使用	
美術工芸学部 / デザイン科 / 視覚デザイン専攻					
7	20世紀を彩った日本のCM達	みんなの生まれる前の昭和・平成の時代に制作されたテレビコマーシャルに名作と言われたものが沢山あります。そんな時代を風靡したコマーシャルの解説をします。みんなの中から広告に興味を持つ人が出てくれれば幸いです。	教授 工藤 俊之	・モニター使用 (できれば大きいもの) ・プロジェクター ・スクリーン使用	○
8	本の舞台裏	新聞、雑誌、漫画、参考書…。私たちはさまざまな本に囲まれて暮らしています。本はどうやってつくられているのか？デザイナーはなにをしているのか？何気なく目に入る「情報」を手がかりに、デザインの文法を読み解き、本制作の舞台裏を実例を交えながら紹介していきます。	准教授 坂野 徹	・ホワイトボード使用 大きめの机が必要で す。(1500×600mm程度の机を2台用意してください。机を囲むように見てもらいます)	○
美術工芸学部 / デザイン科 / 環境デザイン専攻					
9	環境デザインの世界	・環境デザインとは ・実社会における環境デザインの事例 ・金沢のまちと環境デザインの関わり ・建築を基礎とした環境デザインの魅力	教授 鐺 隆弘	・プロジェクター ・スクリーン使用	

金沢美術工芸大学 連絡先・及び行事日程等

HP	https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/
担当課・連絡先	事務局 076-262-3531
入試	11月中旬 1月～3月
イベント	7月中旬 9月下旬 11月第1週 毎週木曜日(委員会、他)

- 講師派遣申請は最低2か月以上前をお願いします。

公立小松大学

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	中学生 対応
生産システム科学部 / 生産システム科学科					
1	自動車のCO ₂ 排出量削減と衝突安全向上技術	世界的な規模での温暖化が問題になっています。そのため、自動車のCO ₂ 排出量削減が強く求められています。一方、自動車の衝突安全向上についての規制も厳格化しています。自動車を取り巻く状況と開発技術を紹介します。	教授 富澤 淳 助教 朴 亨原	・PC持参	○
2	電気自動車の機構と将来	環境・エネルギー問題から電気駆動による自動車は近い将来内燃機関による自動車にとって代わることとなるでしょう。本講義では、電気駆動の自動車の歴史、その機構、モータ駆動の利点、将来展望について詳しく解説します。	教授 山田 外史 准教授 池田 慎治	・PC持参	○
3	運動と振動の制御	人間の意図した通りに機械を動かしたい場合、機械の運動そのものと、その運動の副産物として生じる振動を制御する必要があります。機械の運動と振動に関する問題とその解決方法に関する基本的な考え方を解説します。	准教授 疋津 正利 教授 岩田 佳雄	・PC持参	○
4	人工知能	昨今、様々な場面で人工知能(AI)が用いられ、あたかもAIが万能であるかのごとく取り出さされているが、AIとはいったいどのようなものなのか？本講義では人工知能の定義、用途、背景、そして問題の解き方について詳しく解説します。	教授 木村 春彦 准教授 梶原 祐輔	・PC持参	○
5	スポーツと工学	近年のスポーツ用具や設備等の開発には、安全性や機能性に加え、選手の動作を考慮した製品設計がとても重要です。これらに欠かせない機械工学やスポーツ工学の概要とスポーツ用具の開発事例等について解説します。	教授 酒井 忍 教授 香川 博之	・PC持参	○

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	中学生 対応
6	地熱エネルギー	地熱エネルギーとは地表近傍に存在する高温の地下熱源により熱せられた200℃近い高温・高圧の地下水(地熱水)を指し、一般に発電等に利用されます。本講義では、地熱水の探査方法と利用方法、地下における地下水の流れを予測する数理的方法、技術開発の歴史、現状と将来等について解説します。	教授 木村 繁男	・PC持参	○
保健医療学部 / 看護学科					
1	看護職をめざしている 貴方に役立つ 知識満載講義	医療専門従事者の種類と役割、看護師・保健師・助産師の仕事、大学生、大学と専門学校の教育の違い、国家試験受験資格と資格取得、卒業後の進路・就職、などについてわかりやすく説明し、高校生の皆さんの将来設計に役立つ貴重な材料を提供します。	教授 中島 素子 他、看護学科 全教員	・PC持参	○
2	「わかる・つかえる・役に立つ看護ケア」	高校生でも知っておくべき、基本的な看護知識・ケア(感染症予防・自身や家族の健康管理など)について分かり易く説明し、家庭内や学校生活でも役に立つ基本的な知識を提供します。	教授 中島 素子 他、看護学科全 教員	・PC持参	○
保健医療学部 / 臨床工学科					
1	臨床工学に関連する 医療技術および機器	臨床工学技士の重要な業務は、生命維持管理装置の操作と管理です。この代表的なものは、呼吸、循環、および過を代行する人工呼吸器、人工心肺装置、および血液透析装置です。本講義では、生命維持管理装置の仕組みと医療現場での重要性をご紹介します。	講師 坂元 英雄 講師 井澤 純子 教授 平山 順	・PC持参	○
2	医療に関連する科学と技術	画像技術は、身体の生理的・機能的情報の取得に重要です。X線CTやMRIなどの医用画像のみならず、近年ではCGやVR技術を用いた医療用シミュレータの開発も進んでいます。本講義では、画像技術を中心とした医療技術についてご紹介します。	講師 坂元 英雄 講師 井澤 純子 教授 平山 順	・PC持参	○
3	健康を守る体内時計	体内時計は、睡眠といった多様な生理機能に約24時間の周期変動を作り出す装置です。「光を利用し自然界の昼夜の変化に対し体内環境を最適化する」という重要な役割を担っています。本講義では、体内時計の我々の健康の維持における重要性をご紹介します。	教授 平山 順	・PC持参	○
国際文化交流学部 / 国際文化交流学科					
1	観光学の新たな展開と 南加賀の地域創生	小松市を中心とした南加賀地域の地域創生について、国際的な観光振興の実績と問題点をふまえながら、グリーン・ツーリズム、バリアフリー・ツーリズム、フード・システム等に関する国際文化交流学部での講義を基に、石川県内で活動する他大学との連携に資する講義を提供します。	国際文化交流 学科教員	・PC持参	○
2	アジア社会と国際交流	中国の政治的、経済的プレゼンスが地球規模で拡大する中で、日本とアジア諸国はこれとどのように向き合っていくかが問われています。国際文化交流学部で展開する授業を基に、地域として国際交流のあり方を考える講義を提供します。	国際文化交流 学科教員	・PC持参	○
3	国際交流のための 言語文化研究	世界各地域の言語と文化に関わる多様なトピックを、国際文化交流学部で開講されている授業内容を基に、学術的視点から論じ、国際的な領域での着実なコミュニケーションの確立に資する授業を提供します。	国際文化交流 学科教員	・PC持参	○

公立小松大学 連絡先・及び行事日程等

HP	https://www.komatsu-u.ac.jp/
担当課・連絡先	学生課入試係 0761-23-6610
入試	1月～3月
イベント	水曜日午後(会議)